

華僑の歴史資料の収集についての協力依頼

中山は古くから香山と呼ばれ、偉人である孫文の故郷であり、有名な華僑の里でもあります。数百年前から、海外に転居をし始め、それ以降海外へ就労、留学、定住、起業に行った中山（香山）人が後を絶ちません。現在、中山市の華僑華人と香港・マカオ・台湾同胞の数は80余万人があり、90カ所以上の国と地域に分布されています。昔から今まで、数多くの海外同胞と香港・マカオ・台湾同胞は「祖国愛・故郷愛」を持ち、祖国と故郷の経済と社会の発展に多大な貢献をしています。先輩たちの困難にめげず起業する様子と、社会に幸福をもたらす業績を紹介するため、中山市政府は中山華僑歴史博物館を建設することを決定しました。

博物館建設実行委員会は2005年から国内外の様々な方や社会団体に華人華僑の歴史資料を広範に募集し始めました。そして、2010年にオーストラリアへ、2011年に米国へ資料の収集のため担当者を派遣しました。現在まで、受入れた3000余件の実物と資料は中山の華人華僑が出国した経緯、海外での起業や生活の様子と社会団体への参加の様子を表し、さらに祖国での革命、抗日戦争及び発展を支援する状況も表しているもので、かなり高い歴史的価値を有すと評価されています。

今年、中山市外事華僑事務局、中山市帰国華僑連合会、中山市文化広電ニュース出版局及び中山市博物館などの部門から募集チームを構成し、引き続き日本と東南アジアへ華僑歴史実物募集に行く予定でございます。華人華僑、社会団体の方々に積極的に支持し応募して頂ますようお願い申し上げます。

募集要項は次の通りでございます。

一、募集する華僑歴史実物、資料の内容について

（一）華僑が出国と帰国した過程を物語る文化財、文献、資料

1. 身分証明
2. 入国審査の証明書類と登録
3. 労働契約書と資金調達契約書
4. 出国途中で使った品物

（二）華僑の海外起業を物語る文化財、文献、資料

1. 華僑が使った生産道具と生活用品
2. 華僑が経営した、または従事した各業種での素晴らしい業績
3. 中国語教育と中国語メディア
4. 華僑の社会団体
5. チャイナタウンの変遷
6. 華僑華人の信奉
7. 上記に関わる文化財、文献、資料

8. 各時期に世界各国が華僑華人に実施した政策、法律、それに華僑華人の反応を物語る文化財、文献、資料

(三) 華僑が革命と抗日戦争を支援したことを物語る文化財、文献、資料

1. 財物の献納と献金、また軍事装備購入ための献金
2. 上記に関わる活動と個人業績
3. 上記に関わる表彰状、書類、領収書など

(四) 華僑界における名高い華僑の業績を物語る文化財、文献、資料

近代から現代にかけ、大きな社会的影響力を持っている華僑の著名人と各分野、各業界における傑出した華人華僑に関わる文化財、文献、資料。

(五) 華僑が知人と郷里とつながる事を物語る文化財、文献、資料

1. 手紙、小包、送金為替伝票など、または私設銀行、私設郵便局の経営資料
2. 里帰り期間中に贈ったプレゼントと購入した品物
3. 里帰り時の訪問、祖先祭祀、家屋修繕
4. 中国また中山市での投資と公共福祉事業の経営
5. 上記の他に、中国国内と郷里で行われた華僑に関わる社会活動

(六) 華人華僑の記録、叙述と記憶に関わる文化財、文献、資料。例えば、日記、回想録と著作などを含みます。

二、募集方法

1. 寄贈される実物と資料は博物館に収蔵される基準に合致すると専門家に鑑定されましたら、寄贈者に収蔵証明書と感謝状を授与し、場合によっては粗品を贈呈します。
2. 実物と資料の所有者は実物と資料の展示を建設実行委員会に委託し、展示期間に所有者を明示することができる。
3. 各界の方々に上記のような実物と資料に関わる手がかりを提供していただくように願います。

最後に、中山市華僑歴史博物館の建設に関心を寄せ応援して頂く方々に心から感謝申し上げます。

中山市外事僑務局局长 馮 金怡

2013年7月15日

